

【分科会記録】第 7 分科会

（参加人数 26 人）

分科会テーマ	学校図書館運営の実際 ～学びを支える図書館①～
司会	氏名 高橋 路子（新潟県胎内市立きのと小学校）
記録	氏名 宮尾 菜々美（安曇野市立穂高南小学校）

1 発表の概要

(1) 発表者氏名 平澤 洋子先生

（茅野市立金沢小学校）

○実践① 学校図書館を支える環境づくり

教室棟や昇降口から離れた図書館のため、環境を整備した。天井から吊した標語や壁面掲示、季節や学年に合わせた本の紹介等、子どもたちが足を運びやすい図書館を目指して取り組んでいる。

○実践② 読書センターとしての図書館

長年続く「朝の読書活動」は、児童、教師全員が 10 分間読書に没頭している。また、地域ボランティアらによる定期的な読み聞かせや、「家庭読書の日」を実施している。

図書委員会による、おすすめ本の寸劇や、委員が読み聞かせる本に登場する料理が提供される「おはなし給食」などで読書推進を図っている。

○実践③ 情報・学習センター

分類の仕組みやポプラディア、年鑑などの資料を学年に応じて指導し、「問いを持って図書館へ行く」習慣を子どもたちに定着させた。教科横断的な学びを取り入れ、図書館活用授業コンクールで優秀賞を受賞するなどの成果を上げている。

○成果と課題

・夏休みの課題として「調べる学習」に取り組む児童が増え、1 年生でも挑戦する子が増えてきた。

・「調べる学習コンクール」へ出展する作品

に手直しが必要な場合が多く、手直しが不要な作品を作り上げられるよう日々指導を続けている。

(2) 発表者氏名 正来 洋校長先生

（石川県白山市立鳥越小学校）

○実践① 学校図書館システムの概要

司書部会・学校図書館部会の 2 つの組織があり、専門研修、実践事例の検討共有が行われている。「学校図書館支援センター」では、小中学校へ本を週 1 回配送したり、センター係長が配置され、授業への助言・指導をしたりすることができるようになった。

○実践② 学習情報指導の状況

学校司書が進めてきた実践データ、学校司書の業務システムマニュアルや指導場面が教材パッケージとして共有され、異動や新規採用に際して、指導の継続性を担保している。市立図書館と連携した「調べ学習チャレンジセミナー」などを実施し、毎年 2,000 点超の応募がある「調べ学習コンクール」を推進している。

○実践③ 白山市学校図書館の課題

学校図書館を授業へつなげるべく講師を招き研修会を重ねている。特に東京学芸大学附属世田谷中学校司書・村上恭子氏の「校内で（司書・司書教諭だけでなく授業者という）『第 3 の仲間』を作る意義」という指摘が、受講者の心に響いた。

○成果と課題

・高い運営レベルと学習情報指導の定着、

「調べ学習」も各校で継続的に取り組んでいる。

- ・司書や司書教諭の専門性を高めることや授業者とのさらなる連携のため、日常業務と研究開発業務のバランスを取る。

(3) 発表者氏名 廣中優奈先生

北村加代子先生（千曲市立更埴西中学校）

○実践① 学校司書による本の紹介

千曲市の図書館司書で行っている「本の紹介」は、基本的に一人仕事の司書にとって新しい本との出会い、図書館づくりや読み聞かせにも役立っている。

○実践② 「工夫して魅力を伝えよう」

学校司書部会での「本の紹介」を中学1年生「工夫して魅力を伝えよう」の単元に活かし、「本の帯づくり」に取り組んだ。生徒は好きな本を選び、実際の帯を分析して、あらすじやキャッチコピーなどの必須構成要素を理解した。その後、本のタイトルやイラストを活かすように表現の幅を広げて帯を作成し、クラス内で共有した。

○ワークショップ おすすめ本紹介

おすすめの本を色画用紙にポップのようにかき、グループの中で発表し合うワークショップを行った。先生方の紹介する本はとて興味深く、気になっていた本や全く知らなかった本もあった。「読んでみたい」「このあとポチッとします」等、好意的な反応があり、新たな本との出会いがたくさんあったワークショップとなった。

○成果と課題

- ・生徒が帯づくりを通して、文章から必要な情報を選択・要約する力をつけることができた。
- ・魅力をどう伝えたらいいか悩む生徒が多かったため、図書館や書店などでプロの表

現に触れる機会を増やしたい。

(4) 発表者氏名 川本 慎一先生

(新潟県新潟市立小須戸中学校)

○実践① 朝読書の徹底

職員全員の周知徹底のもと、朝読書の時間を10分間確保し、学級文庫を毎月交換して誰でも様々な種類の本を読める環境を整備した。

○実践② 季節や行事に合わせた展示

司書が中心となり、学校行事や季節に合わせた展示・掲示を図書館内外で行い、生徒の興味を引いた。

○実践③ 図書委員会の活動の充実

しおり・ブックカバーのプレゼント、学級文庫の管理、ワゴンで廊下に出向く移動図書、読書旬間での「本の福袋」「近隣3校の人気本ランキング」、他委員会とのコラボ展示等、さまざまな活動を行った。

○実践④ 読書バリアフリー化

読みやすさに配慮した本を集めた「りんごの棚」を設置し、またリーディングトラック、カラーバールーペ等も設置した。

○成果と課題

- ・普段利用しない生徒に興味を持ってもらい、貸出冊数が増加傾向にある。
- ・依然として未利用者が多いため、今後は未利用者への取り組みや、いろんなジャンルの本に触れる機会を増やす支援に重点を置く。

2 討議の概要

それぞれの発表が充実しており、討議をする時間はとれなかったが、発表者、参加者の先生方のおかげで、実践発表、ワークショップ、質疑等内容の濃い、学びの多い時間を過ごすことができた。